

平成 24 年度 事務事業事後評価調書 (平成 23 年度事業)

整理番号 11 - 49

1 事務事業の表示

※ ■ : 該当

事務事業名		読書促進事業							
評価者	担当課名	教育振興課		担当係名	生涯教育係兼図書業務係				
	管理職	職名	課長	作成者	職名	主査			
		氏名	横田和幸		氏名	櫻井輝久			
事業の概要	多様な学習目的と複雑かつ高度化する生涯学習ニーズ及び利用者の利便性の向上に対応するため、図書館図書の整備を行う。					全体計画 / 期間限定複数年度 (平成 20 年度～ 24 年度)			
						国・道支出金			千円
						地方債			千円
						その他			千円
						一般財源	20,600		千円
				事業費計	20,600	千円			
実施方法	■ 直営		民間委託	その他 ()					
第 5 期 総合計画 (前期)		■ 登載事業		非登載事業	優先度	A			
事業の位置付け	政策目標	3	のびやか・雄武～教育・文化の振興～						
	基本施策	13	生涯学習・生涯スポーツの推進						
	単 位 施 策	4	図書サービスの充実						
	事務事業の種類	■ 自治事務		法定受託事務					
	その他計画・根拠等								
事業費	実施年度	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)			
	国・道支出金	千円	千円	千円	千円	千円			
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円			
	その他財源	千円	千円	千円	千円	千円			
	雄武町負担額 (一般財源)	2,650 千円	3,650 千円	4,148 千円	4,998 千円	5,150 千円			
	合計	2,650 千円	3,650 千円	4,148 千円	4,998 千円	5,150 千円			

2 事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)		
【抱える課題やニーズは】	資料増による施設環境の充実に努めているが、施設上の要因もあり図書館の魅力をも十分に生かせていない。	購入冊数3,293冊、町民一人当たり年間貸出冊数10冊		
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	町民ニーズに応じた蔵書構成を目指し、読書活動や図書館環境の向上を図る。	指標(指標計算式/解説)	目標年度	平成23年度
		① 図書購入冊数	目標値	3,293 冊
			実績値	3,293 冊
			達成度	100.0 %
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	読書活動を促進し、図書館環境の向上を図ることにより、町民に必要とされる図書館を創出するとともに、町民の生活と学びを支援する。	② 一人当たり貸出冊数	目標年度	平成23年度
			目標値	10 冊
			実績値	5.7 冊
			達成度	57.0 %
内 容(どのような手段で何を行ったか)				
①図書購入冊数	3,293冊 (前年度比 8冊増)			
②年間貸出冊数	・年間貸出冊数 26,977冊(前年度比 7,366冊減) ・一人当り年間貸出冊数 5.7冊(前年度比 1.4冊減)			

3 事務事業の評価(Check)

(1) 事務事業の必要性(町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要 必要／概ね必要／課題あり	<input type="checkbox"/> 義務的なもの	蔵書を充実させ図書館の利用を促進することは、人づくり、ひいてはまちづくりであり、町民の生涯学習の推進、地域の活性化のために必要である。
	<input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	

(2) 事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効 有効／概ね有効／課題あり	設定した目標値の達成状況	蔵書の充実に伴い町民の多様なニーズに対応でき、生涯学習の推進のために、有効な事業である。
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	

(3) 事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的 効率的／概ね効率的／課題あり	判断の理由	町民が購入・閲覧することが困難な、高価な図書を収集し提供することも図書館の重要な役割であり、また再販制度により購入の際のコスト削減は困難であるが、図書購入にあたっては、十分精査の上対応しており、町民ニーズを満たすために必要なコストであり効率的である。
	<input type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員削減 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input checked="" type="checkbox"/> その他	

(4) 事務事業の公平性

公平 公平／概ね公平／公平でない	判断の理由	町民だれもが利用できる空間であり、また町民のニーズに応じた蔵書の充実を図っているため、公平性は保たれている。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある <input type="checkbox"/> 受益者負担がない <input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る <input checked="" type="checkbox"/> その他	

4 総合評価【A～D】

- A: 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
- B: ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
- C: 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
- D: 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
町民の読書活動による生涯学習の推進や、読書環境の充実を図り、計画どおり事業を達成した。		



継続／現状維持		
50,000冊の蔵書を計画的に進めるため、本事業の継続が必要である。		

* 展開方向の区分

- 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
- 終了
- 休止
- 廃止

5 その他特記事項 (アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

平成 24 年度 事務事業事後評価調書 (平成 23 年度事業)

整理番号 11 - 50

1 事務事業の表示

※ ■ : 該当

事務事業名		図書館施設改修事業				
評価者	担当課名	教育振興課		担当係名	生涯教育係兼図書業務係	
	管理職	職名	課長	作成者	職名	主査
		氏名	横田和幸		氏名	櫻井輝久
事業の概要	現有図書館は、建設から38年余り経過しており、トイレ部分の老朽化が著しく、衛生面の向上のため改修を実施する。				全体計画 / 単年度のみ (平成 23 年度～ 年度)	
事業費	国・道支出金			千円		
	地方債			千円		
	その他			千円		
	一般財源			3,423 千円		
	事業費計			3,423 千円		
実施方法	■ 直営		民間委託	その他 ()		
第5期総合計画(前期)		■ 登載事業		非登載事業	優先度	B
事業の位置付け	政策目標	3	のびやか・雄武～教育・文化の振興～			
	基本施策	13	生涯学習・生涯スポーツの推進			
	単位施策	5	施設・備品の有効活用			
	事務事業の種類	■ 自治事務		法定受託事務		
	その他計画・根拠等					
事業費	実施年度	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)
	国・道支出金	千円	千円	千円	千円	千円
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円
	その他財源	千円	千円	千円	千円	千円
	雄武町負担額(一般財源)	千円	千円	千円	3,281 千円	千円
	合計	千円	千円	千円	3,281 千円	千円

2 事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)		
【抱える課題やニーズは】	老朽化が著しく狭小なトイレ空間の解消、衛生面の向上を図る。	図書館トイレ改修		
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	トイレの改修により、衛生的で快適な施設空間を確保する。	指標(指標計算式/解説)		
		① 図書館トイレ改修		
		目標年度	平成23年度	
		目標値	1 式	
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	図書館を利用する町民に対し、衛生的で快適なトイレ空間を提供することにより、図書館のイメージアップが図られ、利用増の一助となる。	実績値	1 式	
		達成度	100.0 %	
		②	目標年度	
		目標値		
		実績値		
		達成度	%	
内容(どのような手段で何を行ったか)				
図書館トイレ改修	便器交換、仕切り設置、人感センサーライト・ジェットタオル設置等			

3 事務事業の評価(Check)

(1) 事務事業の必要性(町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要 必要／概ね必要／ 課題あり	<input type="checkbox"/> 義務的なもの	町民が快適に利用できる公の施設の維持管理については、施設設置者である行政が実施する必要がある。
	<input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	

(2) 事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効 有効／概ね有効／ 課題あり	設定した目標値の達成状況	トイレの改修により、衛生的で快適な空間を提供することができた。
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	

(3) 事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的 効率的／概ね効率的／ 課題あり	判断の理由	効率的な間取り設計及び人感センサーライト・ジェットタオルの導入による省エネルギー化が図られ、可能な限りコスト削減に努めている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員削減 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input type="checkbox"/> その他	

(4) 事務事業の公平性

公平 公平／概ね公平／ 公平でない	判断の理由	公の施設である図書館の施設改修であり、利用対象は全町民となり得ることから、公平性は保たれている。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある <input type="checkbox"/> 受益者負担がない <input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る <input checked="" type="checkbox"/> その他	

4 総合評価【A～D】

- A: 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
 B: ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
 C: 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
 D: 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
計画どおり事業を達成した。		

今後の展開方向 (Action)	↓	↓	↓
	終了		

* 展開方向の区分

- 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更 ○ 終了 ○ 休止 ○ 廃止

5 その他特記事項 (アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

--